

山種美術館名作選 重要文化財

名樹散椿

速水御舟



夭折の天才・速水御舟の代表作

彩美版® / 限定300部

山種美術館名作選 重要文化財

めいじゅちりつば

「名樹散椿」速水御舟



S130

速水御舟・略年譜

- 明治27年(1894)0歳 蒔田良三郎、いと次男として東京浅草に生まれる。本名栄。
- 明治41年(1908)14歳 松本楓湖の安雅堂画塾に入門。
- 明治42年(1909)15歳 母方の祖母速水きくの養子となるが蒔田姓を使い続ける。師楓湖より雅号「禾湖(かこ)」を授かる。
- 明治44年(1911)17歳 安雅堂画塾の先輩、牛田雞村の紹介で今村紫紅と出会う。紅児会に入会。この頃、後に養兄となる吉田幸三郎と知り合う。
- 大正2年(1913)19歳 第13回美術会展に前年作の《萌芽》に加筆して出品。原三深に購入されたのを機に同年10月より原家の援助を受ける。
- 大正3年(1914)20歳 この頃から速水姓を名乗り始める。雅号を「御舟」に改める。
8月目黒の吉田家作に移転。
10月再興第1回院展に《近村(紙すき場)》を出品し院友推挙。
今村紫紅、牛田雞村、小茂田青樹らと赤唄会結成。
- 大正6年(1917)23歳 4月京都市寺町大雲院の塔頭信養院に仮寓する。
7月京都市清水坂上にある大倉孫兵衛(姉好の姻戚であり大倉陶園の創業者)の別邸に移り住む。
9月再興第4回院展に《浴外六題》出品。横山大観らの激賞を受け川端龍子とともに同人推挙。
- 大正7年(1918)24歳 6月洛北修学院村の林丘寺内にある雲母庵に移り住む。《洛北修学院村》(再興第5回院展)
- 大正8年(1919)25歳 3月浅草駒形で電車で裸かれ左脚を切断する。8月京都市木屋町で舞妓を写生する。
- 大正9年(1920)26歳 この頃より静物画に集中的に取り組む。デューラーに強い関心を持つ。
《京の舞妓》(再興第7回院展)
- 大正10年(1921)27歳 《京の舞妓》(再興第7回院展)
- 昭和3年(1928)34歳 3月吉田幸三郎妹と結婚。目黒吉田邸内に住む。《茶碗と果実》、《白磁の皿に柘榴》、《赤絵の鉢にトマト》などの細密描写による静物画連作を制作する。
- 大正12年(1923)29歳 3月武蔵野野火止の平林寺に仮寓。制作の傍ら参禅修行する。
- 大正14年(1925)31歳 《炎舞》(重要文化財)
- 昭和3年(1928)34歳 《翠苔緑芝》(再興第15回院展)
- 昭和4年(1929)35歳 《名樹散椿》(再興第16回院展)重要文化財を制作
- 昭和5年(1930)36歳 イタリア政府主催・ローマ日本美術展の美術使節として渡欧。ヨーロッパ各国及びエジプトを廻り帰国。ローマ日本美術展には《名樹散椿》《鯉魚》を出品。イタリア政府よりオクシエン・クローヌ勲章を受章。
- 昭和7年(1932)38歳 《花ノ傍》(再興第19回院展)
- 昭和10年(1935)40歳 腸チフスに罹患。3月20日逝去。

落款・印章は原画の縮小比率に対し15%拡大しています



山種美術館が所蔵する速水御舟筆《名樹散椿》。昭和期以降の作品として初めて重要文化財に指定された名品である。



山種美術館

山種証券(現SMBC日興証券)創業者である山崎種二が個人で蒐集したコレクションをもとに、1966(昭和41)年に開館した日本初の日本画専門美術館。横山大観、川合玉堂、上村松園、奥村土牛、速水御舟、東山魁夷など、日本を代表する近代・現代画家を中心とした充実した日本画のコレクションで知られる。重要文化財《名樹散椿》はコレクションを代表する貴重な作品のひとつ。彩美版®の制作にあたっては同館の特別な許可のもと、綿密な色調確認と指導を受け制作しました。

住所 東京都渋谷区広尾3-12-36

TEL 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

休館日 毎週月曜日(祝日は開館、翌日火曜日は休館)、展示替え期間、年末年始

URL <https://www.yamatane-museum.jp/> 詳細はホームページをご確認ください。

額裏に監修者の承認印・限定番号が
入れられた奥付シールが貼られます。



共同印刷株式会社が独自に開発したセキュリティーシールを証明書に貼付しています。お手持ちのスマートフォンなどで、フラッシュをたいて撮影すると、作品が共同印刷(KP)の発行する真正な複製画であることを判定することができます。

彩美版®とは



「彩美版®」は共同印刷株式会社の登録商標です。長年の経験により培われた画像処理技術を元に、厳選された素材に高精度デジタルプリントを施し、画材の質感と豊かな色調を再現した共同印刷独自の高級美術複製画です。本作「名樹散椿」ではさらに一枚一枚に職人の手刷りによるシルクスクリーンを施すことで、作品に表された速水御舟の豊かな色彩や筆遣いといった原画の持つ鼓動までも表現しています。半世紀以上にわたり高級複製美術品の制作を続ける共同印刷の「彩美版®」は、業界屈指のブランドとして、その高い品質から多くの美術愛好家の方に支持されており、美術関係者からも高い評価を得ています。

仕様体裁

- 技法 彩美版®シルクスクリーン、一部本金泥使用
- 限定 300部
- 用紙 版画用紙
- 額縁 金泥仕上げ木製枠、アクリル付き(国産)
- 画面寸法 天地35.8cm×左右72.7cm
- 額寸法 天地56.5cm×左右93.5cm×厚さ5.0cm
- 重量 約5.6kg
- 監修 山種美術館館長 山崎妙子
- 解説 山種美術館館長 山崎妙子
- 原画所蔵 山種美術館

発行

TOMOWEL | 共同印刷株式会社

販売価格

275,000円

(本体250,000円+税10%)

美術
趣味

【美術をもっと楽しむためのウェブサイト】

<https://bijutsu-shumi.com>

- 肩書等は初版発行当時のものです。● 寸法・重量等は、天然材料を使用し、一点一点手作りのため、表記と異なる場合があります。
- 作品の色彩等、カタログと現品で多少異なる場合がありますが、ご了承願います。● 本カタログ掲載写真・文庫等の無断転写、複製、転載およびインターネットでの無断使用を禁じます。